



特集

うじ井戸端会議 レポート

H27.11.27 開催

第4回目(H27年度第2回目)となる
うじ井戸端会議を開催しました (^o^)/

第4回目となるうじ井戸端会議を 開催しました

開催しました

うじ井戸端会議を昨年11月に開催しました。年に複数回の開催は今年度が初めてですが、まちづくりマイスターさんと地区まちづくり協議会のみなさん総勢19名と多くの方にご参加いただきました！

今回も、7名のマイスターさんが会議の企画・運営に携わってくださいました。企画・運営のみなさんより、『議論が発散しやすいので、興味のある分野でのグループ分けを』とのお声をいただきましたので、今回はうじ井戸端会議での初の試みとして、各自の興味のある分野でのグループ分けを行いました。グループは『防災』、『空家・高齢化』、『景観』、『交通』に設定しました。

当日の流れ

<プレゼン>
前回の専門講師セミナーの復習

<プレゼン>
まちづくりマイスターと協議会に対する市の考え方

グループ討議

各班発表



各班での意見交換

今回、初の試みとして、各自の興味のある分野でのグループにてグループ討議をして活発な意見交換が行われました。

防災班では、「高齢化が進んでいるのに防災の取り組みを何もしていないので心配」、「近隣に急傾斜地があり心配」などの防災に関して不安に思っている方に対し、自主防災組織を立ち上げ活動されている地域の方は、「青パトで地域を巡回し防災訓練も行っている。防災の取り組みは自治会だけでなく、自治会の部会である防災委員会などを立ち上げ、歴代



の会長を相談役として活動するのがよい。市の要援護者支援制度を活用している「や、豪雨災害を教訓として地域でハザードマップ作成に取り組んでいる。連絡体制は重要だと思ふ。植樹などの楽しい話と合わせて防災



に取り組むようにしている。地域では高齢化が進んでいるが、若い人が防災訓練に取り組んでいて、新興住宅地にはないいつながらがあると思ふ、「地域で神戸の防災センターに視察に行った際、『災害は忘れた頃にやってくる』のではなく、『災害は忘れず必ずやってくる』というのが印象に残った」などのアドバイスをされていました。

空家&高齢化班では、「空家を自治会で把握すべきと思ふ」、「空家、空地、駐車場の現状は協議会で把握している。また、管理人、所有者に対して、適正な維持管理を文書でお願いしている。管理者不明の不良空家は市に依頼して連絡してもらっている」、「空家条例をもっと活用したい」、「高齢化により空家が増えるので、空家問題は高齢化と関わる問題」、「集会所は遠いので、高齢者が集まれる場所として空家の活用ができれば。リフォームし

て活用するのに市からの補助があればいいと思ふ」との意見がありました。

景観班では、中宇治地域については「日本遺産に宇治茶が認定されたが、茶畑が少なく、保全を行っていくべき。平等院裏のマンション建設の二の舞になつてはいけない。最近の中宇治だけでなく、その場所で見られないうち白川などの観光地も人気なので、中宇治だけではだめだと思ふ」、「昔ながらの町家を保存したり、歴史をつくることも大事」、「うわべだけきれいでもだめだと思ふ」との意見があり、住宅地では「現在地区まちづくり計画に沿って活動していることに加え、建築制限を知って購入する人が多いので、景観は比較的うまくいっている」や、山間地域では、「遊歩道の整備などに取り組んでいる」との意見が出ました。結論として、「観光地か住宅地かなど、地域により適切な景観が異なるので景観は話をしほらないと広すぎるテーマ。その地域に適した景観保全が大切」とまとめられました。

交通班では、「高齢者の運転が危険」、「宇治市は東西交通が弱いので、電車やバスの充実を」、「道路と鉄道の連立化を」、「歩車分離信号の導入を」、「交通渋滞の改善が必要」、「平等院への観光客の流れを改善すべき」、「自転車が危険」との意見が出ました。



次回のうじ井戸端会議

お

かげさまで、うじ井戸端会議は今回で4回目の開催となりました。次回の開催案内を同封させていただいておりますので、奮ってご参加ください。

次回のうじ井戸端会議では、企画運営の方のご提案を受けて、空家や景観に携わる部署の職員がブレゼンを行い、フリートークにも参加する流れとしております。この機会に、ぜひ宇治市職員に普段聞けない質問や相談をしてみてください！

また、次回は会議後に簡単な懇親会を予定しておりますので、おいしいお料理とお酒を楽しみながら、井戸端会議に引き続き親睦を深め、盛り上がっていただければと思います！

平成28年度も

奮ってご参加ください！

平

成27年度は3回をセットとして、会議

の企画運営の方を固定させていただいていましたが、来年度の会議に関する企画運営にご興味のある方はご連絡ください。

来年度は気候のよい時期にまち歩き等のフィールドワークを行うことも検討しております。